

# 第67回 映像技術賞 募集要項

(一社)日本映画テレビ技術協会では、「映像制作技術」を対象とした賞として、「映像技術賞」の選定を行っております。当協会活動の中で、「顕彰」は重要な事業活動のひとつです。就きましては、「映像技術賞」の実効を高めていくためにも、下記選定規約をご確認の上、会員の方々からの積極的な推薦をお願い致します。(映像技術賞と技術開発賞を受賞したもののの中から、経済産業大臣賞が1件選ばれます。)

## —映像技術賞 選定規約—

### I 選定の対象

協会規則第9章「表彰」第54条の規定により、2013年4月1日より2014年3月31日までに、日本国内で公開された劇場公開作品及び放送作品を制作するために使われた技術で、特に優秀なものとして推薦されたものについて選定を行う。(再上映・再放送は除く)

### II 候補技術の種類

候補技術は、撮影・照明・録音・音声・美術・編集・アニメーション・VFX・OAGといった、作品(番組)制作のために使われた映像表現技術を対象とする。

### III 候補の推薦方法

「応募用紙」を協会宛提出。推薦にあたっては候補となる技術を明確に特定し、その担当者(複数可)を被推薦者として明記しなくてはならない。

### IV 候補の推薦者

協会会員(個人・法人会員)または映像技術賞協力関連団体。

(関連団体とは、(協)日本映画撮影監督協会、(協)日本映画・テレビ照明協会、(協)日本映画・テレビ録音協会、(協)日本映画・テレビ美術監督協会、(協)日本映画・テレビ編集協会、NPO法人テレビ日本美術家協会、(社)日本照明家協会をいう。)

候補が受理された場合、推薦者または被推薦者は、審査試写が出来ない作品に関しては、候補技術の審査の便を図らねばならない。

### V 応募の締切

郵送の場合 : 2014年4月1日(火) 必着とする。

メールの場合 : 2014年4月1日(火) 17時必着とする。

※PDF版による電子メール提出で受け付けます。

[送付先] eizou@mpte.jp [件名] 2013年度映像技術賞応募

### VI 審査方法

(1) 対象となる作品の試写、又はプレゼンテーションを行う。審査方法は、分科会に委ねる。

(2) 審査は推薦理由及び被推薦者から提出された技術資料に基づいて行う。

### VII 運営委員会及び分科会委員会

運営委員会は年度毎に会長の委嘱する若干名の運営委員によって構成する。運営委員会において分科会委員を選出し、分科会委員は、それぞれの分科会及び審査に関する運営を行う。

### VIII 審査委員会

審査委員会は年度毎に会長の委嘱する若干名の審査委員によって構成する。

### IX 最終決定

審査委員会の結論は理事会の承認を経て決定する。

**[注意]** 同技術・同公開形態への応募に際し、同会社の同局又は同部署から2作品を越える多数の申込があった場合は、社内での検討をお願いする場合がございます。

### <お問い合わせ・応募用紙送付先>

一般社団法人 日本映画テレビ技術協会 / 103-0027 東京都中央区日本橋 1-17-12 日本橋ビルディング 2階  
TEL.(03)5255-6201 FAX.(03)5255-6202 <http://www.mpte.jp>

### <応募の締切>

- 郵送の場合 : 2014年4月 1日(火)必着。  
メールの場合 : 2014年4月 1日(火)17時必着。  
※PDF版による電子メール提出で受け付けます。  
送付先アドレス: eizou@mpte.jp  
メールタイトル : 2013 年度映像技術賞応募

※応募用紙のワードファイルをご希望の方は、事務局までご連絡ください。

### <技術資料・提出素材>

- 被推薦者宛に技術資料の提出をお願いします。
- 作品技術によっては、プレゼンテーションをお願いする場合があります。後日、ご通知致します。
- 審査は、フィルム作品(35mm、16mm)及びビデオ作品とも協会法人社(プロダクション、NHK、民放各局)のご協力を得て行う予定です。(5月～6月)。  
尚、上記会場で審査試写の出来ない作品に関しては、応募者に審査の便宜を図って頂く場合があります。

#### 第1分科会

- 1)撮影・照明(劇場公開作品)
- 2)撮影・照明(TVドラマ)
- 3)撮影・照明(ドキュメンタリー)
- 4)撮影・照明(ニュース)

#### 第2分科会

- 1)録音(劇場公開作品)
- 2)音声(放送作品)

#### 第3分科会

- 1)美術(劇場公開作品)
- 2)美術(放送作品)

#### 第4分科会

- 1)編集(劇場公開作品)
- 2)編集(放送作品)

#### 第5分科会

- 1)アニメーション(劇場公開作品・放送作品) ※劇場公開作品及び放送作品は同一部門での審査
- 2)VFX(劇場公開作品・放送作品) ※劇場公開作品及び放送作品は同一部門での審査
- 3)OAG(放送作品)